

山梨県職員採用試験（大学卒業程度）（通常枠）例題等

○例題及び正答番号

大学卒業程度	教養試験	1
大学卒業程度	専門試験 行政及び警察行政	4
大学卒業程度	専門試験 社会福祉	6
大学卒業程度	専門試験 心理	8
大学卒業程度	専門試験 栄養士	10
大学卒業程度	専門試験 化学	12
大学卒業程度	専門試験 農業	14
大学卒業程度	専門試験 林業	16
大学卒業程度	専門試験 土木	18
大学卒業程度	専門試験 農業土木	20
大学卒業程度	専門試験 建築	22
大学卒業程度	専門試験 電気	24
大学卒業程度	専門試験 畜産	26
大学卒業程度	専門試験 保健師	28
大学卒業程度	専門試験 学芸員Ⅲ	30
大学卒業程度	専門試験 文化財主事	32
大学卒業程度	専門試験 研究（林業）	34
大学卒業程度	専門試験 研究（機械）	36
大学卒業程度	専門試験 研究（化学）	38
○論文試験課題出題例	40	
○人物試験集団討論課題出題例	40	

政府が近年掲げてきた経済社会改革の基本方針に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 労働市場改革として、定められた職務内容に人材を割り当てるジョブ型雇用から職務・勤務地の限定のないメンバーシップ型雇用への移行を企業に促し、企業内の労働移動を活発にするという方針を掲げた。
2. グリーントランスマネーション（GX）の一環として、化石エネルギーを削減して原子力の主力電源化を進めるという方針を掲げ、2030年度には発電電力量の電源構成に占める原子力の割合を50%以上にすることを目標とした。
3. 少子化対策として、児童手当を拡充するとともに、世帯年収や扶養する子どもの数にかかわらず大学等の授業料を2025年から無償にすることが決まった。その財源は消費税や法人税の税率を引き上げることによって確保することとした。
4. 女性活躍のための取組を強化する方針が掲げられた。女性の年齢階級別の正規雇用比率を折れ線グラフで表すと、20～50歳代まで約60%でほとんど変わらず台形に近い形であるが、男性よりは低いため、この差を解消することを目標とした。
5. 地域の活性化策として、デジタル田園都市国家構想が掲げられた。これは、デジタル技術を活用して、人口減少など地方の社会課題の解決を目指すものであり、国はデジタル基盤の整備など地方のデジタル実装の下支えを行うこととした。

[正答 5]

- 日本の労働事情に関する次の記述ア～オのうちには妥当なものが二つある。
それらはどれか。
- ア. 完全失業率（年平均）について見ると、2019～2022年の間で上昇し続けており、
2022年には5%を超えた。
- イ. 雇用形態別雇用者数について見ると、2019～2022年の間で、正規雇用労働者数は
減少し続けたが、非正規雇用労働者数は増加し続けた。
- ウ. 産業別雇用者数について前年と比べた増減を見ると、「宿泊業、飲食サービス業」
の雇用者数は、2021年には減少したが2022年には増加に転じた。「情報通信業」の
雇用者数は、2021年、2022年ともに増加した。
- エ. 雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った、いわゆる就職氷河期世代とは、おおむ
ね2005年から2015年に学校卒業期を迎えた世代をいい、この世代の活躍促進に向
けた支援が進められている。
- オ. トラック、バス、タクシーなどの自動車運転の業務は、働き方改革における時間外
労働の上限規制の適用猶予業務とされてきたが、2024年4月からは時間外労働の
上限規制が適用された。

1. ア、イ
2. ア、エ
3. イ、オ
4. ウ、エ
5. ウ、オ

[正答 5]

A～Dの4人が喫茶店に入り、各人が、お菓子をチーズケーキ、ショートクリーム、アップルパイの3種類のうちから1種類又は2種類選び、更に飲み物を紅茶、コーヒーの2種類のうちから1種類選んで注文した。これに関して次のことが分かっているとき正しく言えるのはどれか。

- ・アップルパイを注文した人は2人であり、2人とも紅茶を注文した。
- ・Aは2種類のお菓子とコーヒーを注文した。
- ・Bは、Aと同じお菓子は注文しなかった。
- ・CとDは同じ飲み物を注文した。
- ・Dはお菓子を1種類だけ注文したが、それはショートクリームではなかった。
- ・3人が注文したお菓子があった。

1. ショートクリームを注文したのは1人だった。
2. コーヒーを注文したのは2人だった。
3. Bはチーズケーキを注文した。
4. Cはショートクリームを注文した。
5. Dはアップルパイを注文した。

[正答 1]

行政手続法における申請に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 申請とは、私人が法令に基づき、行政庁の許認可等自己に対し何らかの利益を付与する処分を求める行為であるが、当該行為に対して行政庁が諾否の応答をすることは努力義務である。
2. 行政庁は、申請により求められた許認可等をするかどうかを判断するための審査基準を定めなければならず、行政上特別の支障の有無にかかわらず、これを公にしておかなければならない。
3. 申請が行政庁の事務所に到達した場合、行政庁は遅滞なく当該申請の審査を開始しなければならない。
4. 申請が形式上の要件に適合しない場合、行政庁は申請者に対し、まずは相当の期間を定めてその補正を求めなければならず、補正を求めた後でなければ、申請により求められた許認可等を拒否することはできない。
5. 行政庁は、申請者の求めがなくても、当該申請に係る審査の進行状況及び当該申請に対する処分の時期の見通しを示さなければならない。

[正答 3]

日本の消費税に関する次の記述ア～オのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

- ア. 消費税は1990年代末に導入された。国・地方を合わせた消費税の税率は、導入当初の5%が維持されていたが、2019年10月に標準税率が10%に引き上げられるとともに、「全ての飲食料品」については軽減税率8%が適用されることとなった。
- イ. 2013年度から2022年度までの国的一般会計税収（決算額）のうちの「消費税」は増加傾向にあり、2024年度当初予算においては、「消費税」、「所得税」、「法人税」のうち、「消費税」は「法人税」に次いで2番目に多い。
- ウ. 消費税は多段階課税であり、製造業者、卸売業者、小売業者等の各取引段階の事業者は売上げ等に係る税額から仕入れに係る税額を差し引いた額を納税する。事業者に課される税相当額は、最終的には消費者が負担することが予定されている。
- エ. 複数税率制度の下において適正な課税を確保する観点から、仕入税額控除制度が改正され、2023年10月から、適格請求書等保存方式（インボイス制度）が採用された。
- オ. 日本の消費税率（標準税率）を諸外国における付加価値税率（標準税率）と比較すると、デンマーク、ノルウェーなど北欧諸国よりも低く、ドイツ、フランス、イギリスよりも高い。
1. ア, ウ
2. ア, オ
3. イ, エ
4. イ, オ
5. ウ, エ

[正答 5]

『高齢社会白書（令和5年版）』（内閣府編）による65歳以上の者の生活環境に関する次の記述ア～エのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

- ア. 65歳以上の者の6割以上が賃貸住宅に居住している。
- イ. 養護者による虐待の種別を見ると、身体的虐待が最も多くなっている。
- ウ. 特殊詐欺の被害者の8割以上が65歳以上の者である。
- エ. 2015年以降、65歳以上の者の交通事故死者数は増加傾向にある。

- 1. ア, イ
- 2. ア, ウ
- 3. イ, ウ
- 4. イ, エ
- 5. ウ, エ

[正答 3]

リーダーシップの理論に関する次の記述のうち下線部分が妥当なのはどれか。

1. 三隅二不二は、リーダーシップの機能を課題達成機能と集団維持機能の二つに分類し、両者を高水準で達成する型のリーダーシップについて、最も高い集団生産性を生み出すが、メンバーの意欲・満足度は最も低いことを明らかにした。
2. ハーシーとブランチャードは、メンバーの成熟度によってリーダーシップは変化するとし、非常に成熟度の高い段階では、リーダーは介入せずに信頼して任せる委譲的リーダーシップが最も効果的であることを明らかにした。
3. ハウスとデスラーは、メンバーが目標（ゴール）に達するためにはどのような道筋（パス）があるかを示すことが重要と考え、そのために、リーダーはメンバーに対し常に具体的で細かい指示を出すことが重要であることを明らかにした。
4. ブレイクとムートンは、リーダーの行動スタイルを人間に対する関心と業績に対する関心の2次元で捉え、リーダーシップが最高に発揮されるためには、リーダーが業績よりも人間に高い関心を払っている場合であることを明らかにした。
5. フィードラーは、リーダーの特性をLPC得点（最も仕事をしたくない同僚への評価）によって表し、LPC得点が低いリーダーは、いかなる集団状況でもリーダーシップを有効に発揮できることを明らかにした。

[正答 2]

トールマン（Tolman, E.C.）とホンジック（Honzik, C.H.）による潜在学習の実験に関する記述として妥当なのはどれか。

1. ネズミに迷路を報酬なしで探索させると、当初は報酬ありの統制群に比べて遂行成績は伸びなかったが、報酬を導入した途端に遂行が急激に改善した。
2. 踏み板を踏むかひもに触れるかするとドアが開く仕組みの箱にネコを入れると、初めのうちは偶然に脱出するが、徐々に効率よくドアを開いて脱出できるようになった。
3. 回避不可能な状況で電気ショックを与え続けられたイヌが、回避可能な状況において、自ら電気ショックから逃れようとせずうずくまつたままであった。
4. アカゲザルに対し同じタイプの弁別学習を行う課題を複数連續して取り組ませると、最初はチャンス・レベルであった正答率が漸進的に上昇し、最終段階ではほぼ完全正解に達した。
5. チンパンジーが箱や棒がばらばらに置かれた檻おりの中で、箱を押すなどの行動レパートリーを組み合わせることによって、天井につるされたバナナを試行錯誤によらず取ることができた。

[正答 1]

ベイトソン（Bateson, G.）が唱え、家族療法に影響を与えた「ダブルバインド」の説明として妥当なのはどれか。

1. 両親世代の問題が子供の世代に伝播される家族投影過程が、多世代にわたり生じることである。例えば、父親の持っている自分の母親に対する問題が、形を変えて、子供の母親に対する問題となっていることをいう。実際の治療では家系図を用いることもある。
2. 否定的な意味を肯定的な枠組みに変えることである。例えば、「子供の問題に無関心な父親」と不満を持つ母親に対し、「口出しせずに見守ることができている父親」と表現を変えることで情緒的色彩を構築し直し、問題解決の糸口にする。
3. 家族のサブシステム間の境界線である世代間境界が侵害されることである。例えば、いわゆる母子密着は夫婦サブシステムと子供サブシステムの境界が不明瞭になったことによって生じた事態と考えられる。
4. 二者関係で、一方が言語レベルであるメッセージを発しつつ、非言語レベルではそのメッセージと衝突するメッセージを発することである。例えば、手をつなごうとした子供に、母親が身をこわばらせ、子供が手を引っ込めると、「私のこと好きじゃないの？」と母親が尋ねるような状況である。
5. 症状や行動をあえてやってみるように指示することである。指示に従えば症状のコントロールができたことになり、従わなければ症状をあきらめることになるので、いずれにしても症状の克服に結び付くことになる。

[正答 4]

ランダム化比較試験で、対象者を介入群と対照群へランダムに割り付ける理由として正しいのは、次のうちどれか。

1. 対象者の参加率を高めるため。
2. 対象者の途中脱落を少なくするため。
3. 対象者がどちらの群に属するのか分からないようにするため。
4. 介入内容以外の背景要因を両群で同じような分布にするため。
5. 偶然誤差を小さくするため。

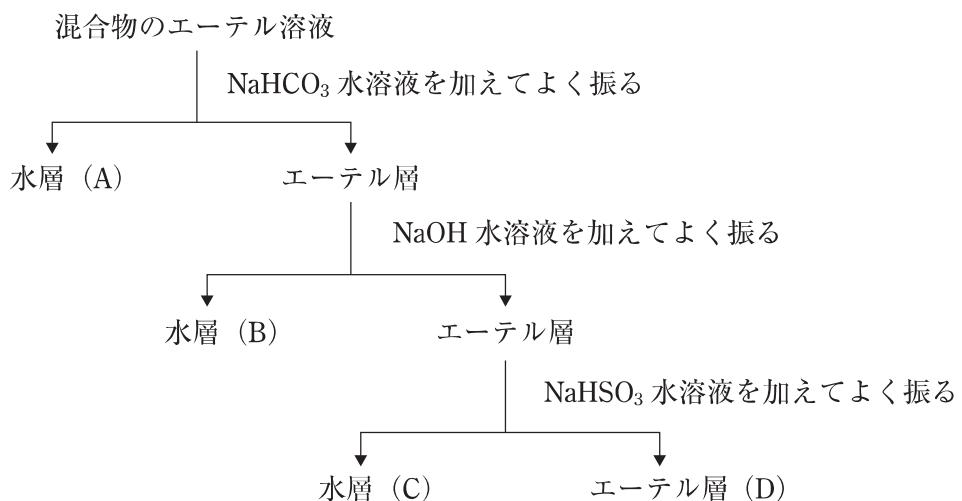
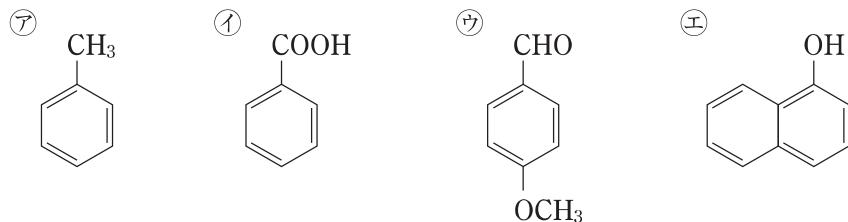
[正答 4]

動脈硬化性疾患予防のための食事療法に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. 脂質エネルギー比率を7%未満とする。
2. トランス脂肪酸の摂取を増やす。
3. 炭水化物エネルギー比率を30~40%とする。
4. アルコールの摂取は1日25g以下とする。
5. 食塩の摂取量は7.5g/日未満を目標とする。

[正答 4]

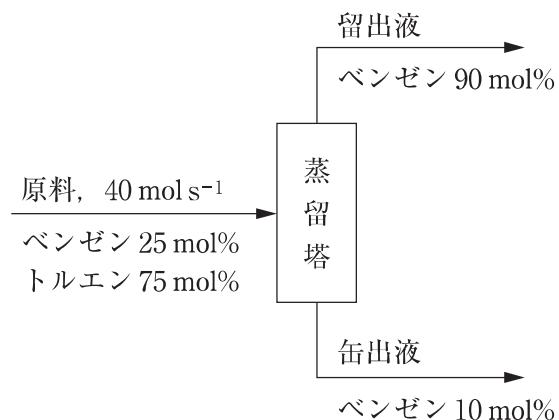
Ⓐ～Ⓔの化合物の混合物をエーテルに溶かし、図の操作方法に従って分離した。図中の(A)～(D)に分離される化合物の組合せとして妥当なのはどれか。



- | (A) | (B) | (C) | (D) |
|------|-----|-----|-----|
| 1. Ⓑ | Ⓐ | Ⓔ | Ⓐ |
| 2. Ⓑ | Ⓔ | Ⓐ | Ⓑ |
| 3. Ⓑ | Ⓔ | Ⓑ | Ⓐ |
| 4. Ⓒ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓑ |
| 5. Ⓒ | Ⓐ | Ⓑ | Ⓐ |

[正答 3]

図のように、原料としてベンゼン 25 mol%，トルエン 75 mol% の混合液を 40 mol s^{-1} の割合で蒸留塔に供給し、塔頂からベンゼン 90 mol% の留出液を、塔底からベンゼン 10 mol% の缶出液を得た。このとき、留出液の流量はいくらか。



1. 4.5 mol s^{-1}
2. 7.5 mol s^{-1}
3. 10 mol s^{-1}
4. 12 mol s^{-1}
5. 16 mol s^{-1}

[正答 2]

マメ類に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. ダイズの子実はタンパク質含有率が約35%と高いため、子実の登熟期には窒素の要求性が高まり、葉身に存在する窒素の子実への再転流が起こる。
2. インゲンマメには完熟子実を利用する品種と若莢を利用する品種とがある。完熟子実用の品種は、日本では主に九州で栽培されており、そのほとんどが煮豆用として利用されている。
3. ラッカセイは、マメ類のうちでは過湿に強く乾燥に弱いため、水田転換畑での栽培に適している。
4. アズキは、日本での栽培面積がマメ類の中で最も大きく、主に近畿以西で栽培されている。用途はほとんどが餡や甘納豆などの菓子の原料である。
5. ササゲは、南米原産で、南米での生産量が多い。日本では、完熟子実を食品とするほか、マメ科牧草として飼料用に広く栽培されている。

[正答 1]

土壌の生成と分類に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 岩石（母岩）は風化作用を受けて土壌の母材となる。風化作用は温度変化などにより岩石が物理的に細粒化される過程であるため、母岩と母材の化学的組成は同じである。
2. 母材から土壌が生成する過程では、植物や土壤生物の影響も受けて土層の分化が進行する。
3. 黒ボク土は火山周辺に広く分布する土壌で、世界の農耕地土壌の約50%を占めている。
4. 赤黄色土は、北海道や東北地方の高山帯～亜高山帯の針葉樹林帯のような冷涼、湿潤な気候条件下で生成する。
5. 泥炭土は湿性植物が母材になってできた土壌であり、日本では九州地方に多く見られる。

[正答 2]

次の記述 a～c は、森林の公益的機能を貨幣評価する方法についての記述である。各記述に該当するものの組合せとして妥当なのはどれか。

- a. 森林がもつ降雨の貯留機能をダムで果たすことを想定して、ダムの建設費や償却費から森林機能の価値を求めるなど、森林と同等の機能を提供する財を探し、その財の価格で森林の環境的機能の価値を評価する方法
- b. 主にレクリエーションや景観の評価に用いられる方法であり、対象地までの旅行費用や訪問率、旅行者数などからレクリエーションの需要関数を推定し、その消費者余剰も考慮して貨幣価値に換算し、対象地の評価額とする方法
- c. 例えば、ある河川の上流域の森林を伐採する場合に、環境の変化に対する受け入れ補償額あるいは環境の変化を起こさせないための支払い意志額を直接人々から聞き出し、その額を分析することにより、環境の価値を評価する方法

a	b	c
1. 仮想市場評価法 (CVM)	代替法	トラベルコスト法
2. 仮想市場評価法 (CVM)	トラベルコスト法	代替法
3. 代替法	仮想市場評価法 (CVM)	トラベルコスト法
4. 代替法	トラベルコスト法	仮想市場評価法 (CVM)
5. トラベルコスト法	仮想市場評価法 (CVM)	代替法

[正答 4]

人工林の保育に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. 一般に、植栽木の植栽密度が高いほど、下刈りを必要とする期間は長くなる。
2. 下刈りには全刈りと部分刈りがある。雑草木の一部を残す部分刈りには労力が軽減されるという長所があるが、植栽木が寒風害を受けやすくなるという短所もある。
3. つる切りは、有害なつる植物の成長が停止する冬に行うのが効果的である。
4. クズは、他のつる植物に比べて植栽木の樹幹部への食い込み被害を著しく与えるため、特に巻き付きの初期につる切りを行う必要がある。
5. 枝打ちは、無節の材を生産するのに効果があるとともに、スギノアカネトラカミキリのような枯枝から侵入する害虫の防除にも効果がある。

[正答 5]

図 A ~ D の梁について、静定か不静定かの組合せとして妥当なのはどれか。

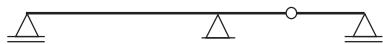
A



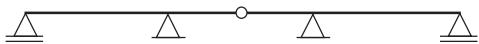
B



C



D



A

B

C

D

- | | | | |
|--------|-----|-----|-----|
| 1. 静定 | 静定 | 静定 | 不静定 |
| 2. 静定 | 静定 | 不静定 | 不静定 |
| 3. 不静定 | 静定 | 静定 | 不静定 |
| 4. 不静定 | 静定 | 不静定 | 静定 |
| 5. 不静定 | 不静定 | 静定 | 静定 |

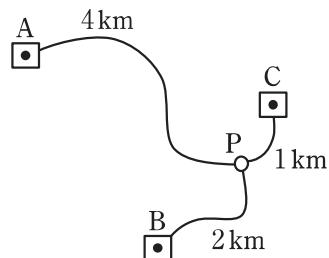
[正答 3]

コンクリート構造物の耐久性に関する次の記述A～Dのうちには妥当なもの
が二つある。それらを選んでいるのはどれか。

- A. コンクリートの中性化は、コンクリート自体の強度などに及ぼす影響は小さい。しかし、内部に配置される鉄筋の不動態皮膜が破壊され、水及び空気の侵入によって、鉄筋が腐食しやすくなることが問題となる。
 - B. アルカリシリカ反応の抑制対策として、混合セメント（高炉セメントB種あるいはC種）を使用することがある。
 - C. コンクリートは高いアルカリ性を示すので、硫酸や塩酸などの化学物質によってコンクリートが腐食することはない。
 - D. AEコンクリートは、凍害に関する気象作用が通常より厳しい場合にのみ使用が許されている。
-
- 1. A, B
 - 2. A, C
 - 3. B, C
 - 4. B, D
 - 5. C, D

[正答 1]

図のように、三つの水準点A～Cから点Pの標高を求めるため直接水準測量を行い、表のような結果を得た。点Pの標高の最確値はいくらか。



水準点	点Pの測定値 [m]	点Pとの距離 [km]
A	12.416	4
B	12.412	2
C	12.425	1

1. 12.418 m
2. 12.419 m
3. 12.420 m
4. 12.421 m
5. 12.422 m

[正答 3]

耕盤に関する次の記述A～Dの正誤の組合せとして妥当なのはどれか。

- A. 耕盤の形成は透水性を高め、降下浸透を増大させる効果があるため、水田が有する地下水涵養機能を向上させる。
- B. 畑作農業では、耕盤のない圃場が好まれるが、水田農業では、心土と作土の間に耕盤を形成して苗を移植（田植え）する栽培方法が発達した。
- C. 湿水前の田面の耕耘などの作業では、農業機械の車輪は主として作土直下の耕盤によって支持されるが、湿水条件下で行われる代かきなどの作業では、車輪は主として作土層である表層によって支持される。
- D. 耕盤があることで、作土内での灌漑水や肥料の利用効率が高まり、水稻の安定した収量を期待することができる。

	A	B	C	D
1.	正	正	誤	正
2.	正	誤	正	誤
3.	誤	正	正	誤
4.	誤	正	誤	正
5.	誤	誤	誤	正

[正答 4]

ガラスに関する次の記述ア～ウの正誤の組合せとして妥当なのはどれか。

- ア. フロート板ガラスは、フロート法によって製造されたもので、可視光線をよく透過する。
- イ. 強化ガラスは、板ガラスの中に金網をはさみ込んだもので、割れても破片が飛散しにくい。
- ウ. 複層ガラスは、2枚以上のガラスで合成樹脂膜をはさんで全面接着したもので、防犯や防音対策として使用される。

ア	イ	ウ
1. 正	正	誤
2. 正	誤	正
3. 正	誤	誤
4. 誤	正	誤
5. 誤	誤	正

[正答 3]

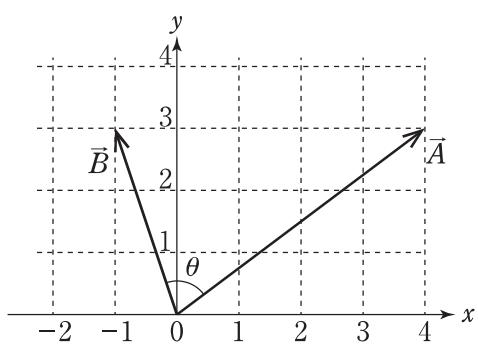
消防・警報設備に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 屋内消火栓設備は、消防ポンプ自動車のホースを連結して、消防隊が本格的な消防活動を行うためのものである。
2. 水噴霧消火設備は、噴霧ヘッドから水を噴霧状に放射して火災を消火するもので、主として冷却作用と酸素の遮断により燃焼を阻止する仕組みである。
3. 全域放出方式の二酸化炭素消火設備は、事務所や病院などの居室における火災の消火に適している。
4. 自動火災報知設備の煙感知器は、煙にも熱にも反応して作動する。
5. ガス漏れ警報設備は、天然ガスの場合は床面近くに、プロパンガスの場合は天井近くに検知器を付ける。

[正答 2]

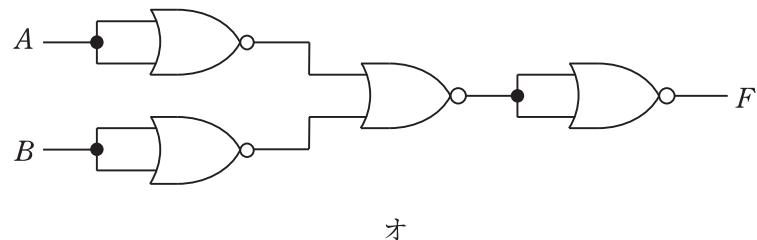
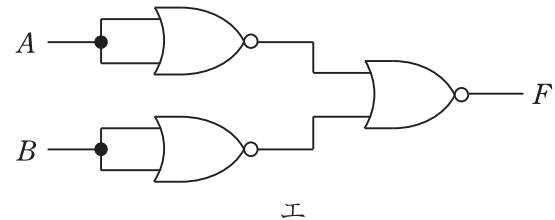
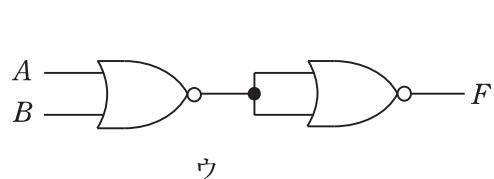
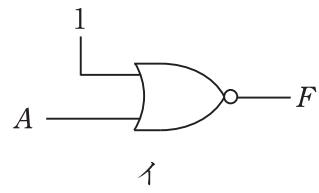
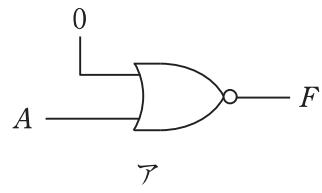
図のように、二つのベクトル \vec{A} , \vec{B} がある。二つのベクトルのなす角を θ としたとき、 $\cos \theta$ の値はいくらか。

1. $\frac{1}{\sqrt{10}}$
2. $\frac{3}{\sqrt{10}}$
3. $\frac{1}{\sqrt{13}}$
4. $\frac{3}{\sqrt{13}}$
5. $\frac{1}{3\sqrt{13}}$



[正答 1]

図のような、NOR回路のみを組み合わせて構成した五つの回路ア～オがある。これらのうちから、NOT回路 ($F = \bar{A}$)、AND回路 ($F = A \cdot B$)と同じ動作をする回路をそれぞれ挙げているのはどれか。



NOT回路 AND回路

- | | | |
|----|---|---|
| 1. | ア | ウ |
| 2. | ア | エ |
| 3. | ア | オ |
| 4. | イ | ウ |
| 5. | イ | エ |

[正答 2]

次の文章は、和牛の改良に関する記述である。文章中の空欄 **a**～**d** に入るものの組合せとして正しいのはどれか。

我が国の和牛の育種技術の歴史は18世紀後半の江戸時代までさかのぼることができ、この頃、「**a**」と呼ばれる系統が造成されていた。その後、1900年頃から在来和牛の体格や晩熟性を改良するために、**b** やブラウンスイス種などの外国種との交雑が行われ、体格は大きくなり、飼料の利用性や泌乳量も向上した。その結果、和牛として、黒毛和種、褐毛和種、無角和種、日本短角種の4品種が確立された。1960年代以降、和牛の役割は役用から肉専用へと変わり、近年では黒毛和種が最も多く飼育されている。黒毛和種は、和牛のうちでも特に**c** が優れており、その改良には**d** が用いられている。

a	b	c	d
1. 枝	シンメンタール種	枝肉重量	後代検定
2. 枝	ヘレフォード種	脂肪交雑	直接検定
3. 蔓	シンメンタール種	枝肉重量	直接検定
4. 蔓	シンメンタール種	脂肪交雫	後代検定
5. 蔓	ヘレフォード種	脂肪交雫	直接検定

[正答 4]

乳牛の搾乳作業に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. 毎回の搾乳で最初に搾り出される乳は、乳脂肪分を多く含み、良質なバターの原材料に適しており、この乳を特別に取り分けるため、前搾りとして手搾りを3～4回行う。
2. 生乳を衛生的に生産するため、搾乳前には、殺菌したタオルで乳頭部分の汚れを拭き取り、プレディッピングを行った後、清潔なペーパータオルで水分を拭き取るなどの乳頭清拭を行う。
3. 乳頭清拭は乳の流出を促す乳頭への刺激となるが、接触刺激の効果が現れるまで時間を要するため、ティートカップの装着は乳頭清拭の後、十分に時間を置いてから行う。
4. ティートカップの取り外しによる急激な圧力の変化は搾乳後の乳頭の生理反応に悪影響を及ぼすため、搾乳終了から十分に時間を置いてからティートカップを取り外す。
5. ポストディッピングは、搾乳者の手から乳頭表面に付着した細菌の増殖を防ぎ、有害な細菌が搾乳者の間で拡大しないために行うものであり、搾乳後速やかに行う。

[正答 2]

人口動態の指標に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 出生率（粗出生率）は、1年間の出生数をその年の10月1日の総人口で割ったもので、人口10万対で表されるのが一般的である。
2. 合計特殊出生率は、15～49歳の女性の年齢別出生率の総和で、1人の女性が一生の間に生む子どもの数を表す指標として用いられる。
3. 総再生産率は、1人の女性が、出産時の年齢にかかわらず一生の間に生む子どもの数で、合計特殊出生率よりも大きな値となる。
4. 純再生産率は、人口が翌年に増加するか減少するかが分かる指標である。純再生産率が、ある年に1未満になると、その翌年に人口が減少する。
5. 新生児死亡率は、1年間の出生数に対する、生後1週未満の死亡数の割合であり、乳児死亡率よりも小さな値となる。

[正答 2]

国民健康づくり対策に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 2000年に定められた健康日本21は、我が国における初めての国民健康づくり対策である。
2. 健康日本21（第二次）は、健康増進に関連するデータの見える化・活用やPDCAサイクルの推進が十分に行われたと評価されている。
3. 健康日本21（第二次）の最終評価において、「メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の減少」の項目は、「現時点で目標値に達していないが、改善傾向にある」とされている。
4. 健康日本21（第三次）の計画期間は、各種取組の健康増進への効果を短期間で測ることは難しく、評価を行うには一定の期間を要すること等を踏まえ、2024年度から2033年度までの10年間とされている。
5. 健康日本21（第三次）は、「全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」をビジョンとし、多様化する社会において、集団に加え個人の特性をより重視しつつ最適な支援・アプローチを実施するとしている。

[正答 5]

「芥川龍之介」について、次の用語を4個以上用いて、350字以内で記述しなさい。

【用語】

隅田川、東京帝国大学、夏目漱石、新思潮、山梨、河童

明治40年前後、文芸思潮の一つである「自然主義文学」が隆盛したが、その思潮について、我が国における代表的な作家あるいは評論家と、作品をあげながら300字以内で記述しなさい。

中部高地の縄文時代中期の土器編年の特徴について、次の用語をすべて使用して、400字以内で記述しなさい。

【用語】

衰退、殿林遺跡、細分、造形性、一の沢遺跡

史跡における歴史的建造物の復元等の必要性と「復元」「復元的整備」について、次の用語をすべて使用して、400字以内で記述しなさい。

【用語】

学術的、基準、遺構、国民、利活用

次の記述a～cは、森林の公益的機能を貨幣評価する方法についての記述である。各記述に該当するものの組合せとして妥当なのはどれか。

- a. 森林がもつ降雨の貯留機能をダムで果たすことを想定して、ダムの建設費や償却費から森林機能の価値を求めるなど、森林と同等の機能を提供する財を探し、その財の価格で森林の環境的機能の価値を評価する方法
- b. 主にレクリエーションや景観の評価に用いられる方法であり、対象地までの旅行費用や訪問率、旅行者数などからレクリエーションの需要関数を推定し、その消費者余剰も考慮して貨幣価値に換算し、対象地の評価額とする方法
- c. 例えば、ある河川の上流域の森林を伐採する場合に、環境の変化に対する受け入れ補償額あるいは環境の変化を起こさせないための支払い意志額を直接人々から聞き出し、その額を分析することにより、環境の価値を評価する方法

a	b	c
1. 仮想市場評価法（CVM）	代替法	トラベルコスト法
2. 仮想市場評価法（CVM）	トラベルコスト法	代替法
3. 代替法	仮想市場評価法（CVM）	トラベルコスト法
4. 代替法	トラベルコスト法	仮想市場評価法（CVM）
5. トラベルコスト法	仮想市場評価法（CVM）	代替法

[正答 4]

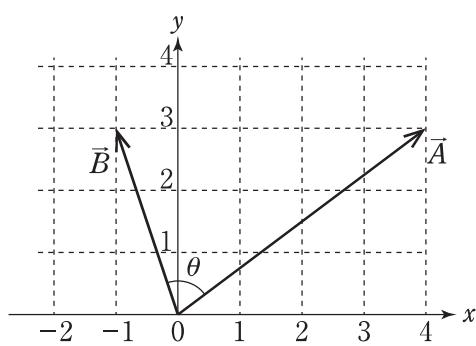
人工林の保育に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. 一般に、植栽木の植栽密度が高いほど、下刈りを必要とする期間は長くなる。
2. 下刈りには全刈りと部分刈りがある。雑草木の一部を残す部分刈りには労力が軽減されるという長所があるが、植栽木が寒風害を受けやすくなるという短所もある。
3. つる切りは、有害なつる植物の成長が停止する冬に行うのが効果的である。
4. クズは、他のつる植物に比べて植栽木の樹幹部への食い込み被害を著しく与えるため、特に巻き付きの初期につる切りを行う必要がある。
5. 枝打ちは、無節の材を生産するのに効果があるとともに、スギノアカネトラカミキリのような枯枝から侵入する害虫の防除にも効果がある。

[正答 5]

図のように、二つのベクトル \vec{A} , \vec{B} がある。二つのベクトルのなす角を θ としたとき、 $\cos \theta$ の値はいくらか。

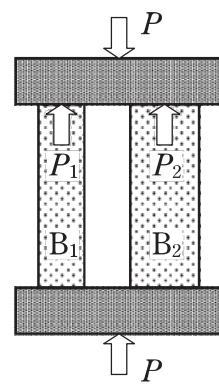
1. $\frac{1}{\sqrt{10}}$
2. $\frac{3}{\sqrt{10}}$
3. $\frac{1}{\sqrt{13}}$
4. $\frac{3}{\sqrt{13}}$
5. $\frac{1}{3\sqrt{13}}$



[正答 1]

図のように、同じ長さの棒を2本並べ、両端を剛性板に溶接したものを荷重Pで圧縮する。一方の棒B₁は断面積A₁、縦弾性係数E₁であり、もう一方の棒B₂は断面積A₂、縦弾性係数E₂である。このとき、棒B₁、B₂に作用する圧縮荷重P₁、P₂はそれぞれどのように表されるか。

ただし、剛性板は常に棒に垂直であり、荷重Pは剛性板に垂直に加わるものとする。

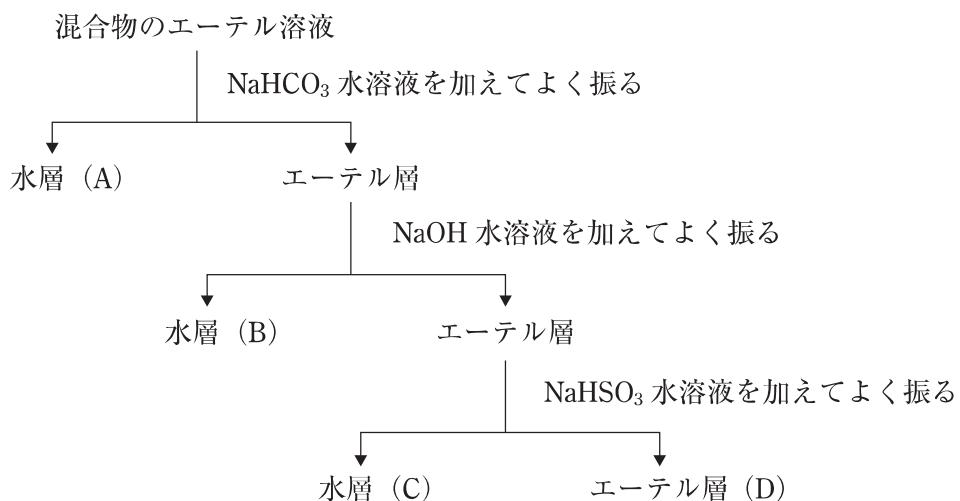
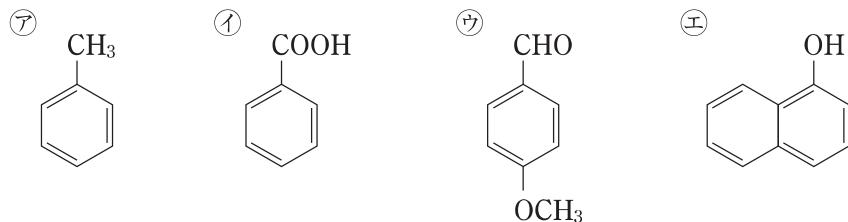


$$P_1 \qquad \qquad P_2$$

- | | |
|------------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. $\frac{A_1 E_1}{A_1 E_1 + A_2 E_2} P$ | $\frac{A_2 E_2}{A_1 E_1 + A_2 E_2} P$ |
| 2. $\frac{A_2 E_2}{A_1 E_1 + A_2 E_2} P$ | $\frac{A_1 E_1}{A_1 E_1 + A_2 E_2} P$ |
| 3. $\frac{P}{2}$ | $\frac{P}{2}$ |
| 4. $\frac{E_1}{E_1 + E_2} P$ | $\frac{E_2}{E_1 + E_2} P$ |
| 5. $\frac{E_2}{E_1 + E_2} P$ | $\frac{E_1}{E_1 + E_2} P$ |

〔正答 1〕

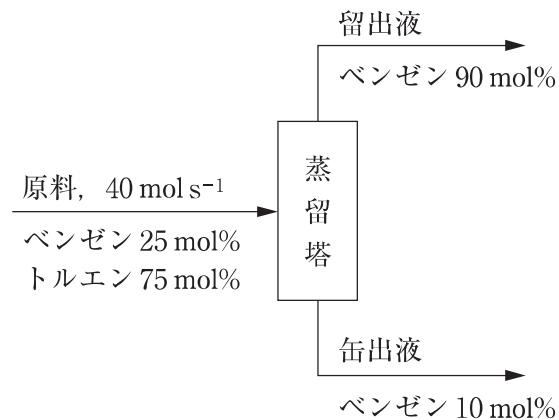
Ⓐ～Ⓔの化合物の混合物をエーテルに溶かし、図の操作方法に従って分離した。図中の(A)～(D)に分離される化合物の組合せとして妥当なのはどれか。



- | (A) | (B) | (C) | (D) |
|------|-----|-----|-----|
| 1. Ⓐ | Ⓑ | Ⓒ | Ⓐ |
| 2. Ⓐ | Ⓓ | Ⓐ | Ⓑ |
| 3. Ⓐ | Ⓓ | Ⓑ | Ⓐ |
| 4. Ⓑ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓑ |
| 5. Ⓑ | Ⓐ | Ⓑ | Ⓐ |

[正答 3]

図のように、原料としてベンゼン 25 mol%，トルエン 75 mol% の混合液を 40 mol s^{-1} の割合で蒸留塔に供給し、塔頂からベンゼン 90 mol% の留出液を、塔底からベンゼン 10 mol% の缶出液を得た。このとき、留出液の流量はいくらか。



1. 4.5 mol s^{-1}
2. 7.5 mol s^{-1}
3. 10 mol s^{-1}
4. 12 mol s^{-1}
5. 16 mol s^{-1}

[正答 2]

職員採用試験（大学卒業程度）（通常枠）

○論文課題出題例

山梨県は「ハイクオリティやまなし」をキャッチフレーズとして、上質な地域ブランドの確立に取組んでいます。

そこで、あなたの考える山梨県の魅力や地域資源の例を挙げ、それをブランドとして確立していくためにどのような施策に取り組むべきか、考えを述べなさい。

○人物試験集団討論課題出題例

山梨県は日本ワインの生産量、ワイナリー数がともに日本一ですが、県内で生産されたワインのさらなる魅力の発信のためにどのような取組が効果的か、意見をまとめてください。